

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」北上校		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 12月 13日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 11月 29日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者支援の充実。	他事業所にはないオリジナルの企画・運営を行っています。定期的にファミカフェを開催し、家族向けの勉強会も実施しました。	保護者様へのアンケートを継続的に実施し、ご意見を反映しながら、より充実した支援を提供できるよう取り組んでいます。
2	地域とのつながり。	例年、近隣商店街の方（青果店）にご協力いただき、地域イベントを実施しています。	協力いただける地域のつながりをさらに増やし、活動を知ってもらう機会を広げながら、イベントの幅を広げていきます。
3	子育て経験豊富な職員が多い。	子育て経験や保育士経験のある職員が多く、支援だけでなく、保護者様に寄り添った傾聴や面談を行うことができます。	経験豊富な職員が中心となり、後輩職員の育成を進め、支援体制の質向上を図ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境	壁や床が薄いため、足音や声の大きさ、人の出入り、車の出入り（排気ガス）による騒音などの指摘があり、今年度は時間の制限や送迎方法について、利用者様や保護者様に多くのご協力をお願いしました。	・利用者様と保護者様へ丁寧な説明とお願いを行う。 ・職員一人ひとりが時間を守り、声量や生活音に十分注意しながら業務に取り組む。
2	職員の専門性	保育士は数名在籍していますが、作業療法士・理学療法士など、専門性に特化した職員はおりません。	県を越えて他校舎の専門職員へ相談し、事例検討の機会を設けるなど、療育面で専門的な助言を受けながら支援の質向上を図っていきます。
3	既製教材の少なさ	児童発達支援の利用者が増加しており、各指導員がオリジナル教材を作成して対応しています。しかし、既製教材は数が限られているため、同じ時間帯に必要なお子様へ十分に用意できない場合があります。	早期療育に向け、教材の充実を図り、より多様なニーズに応えられる環境整備を進めます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」北上校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 24

回収数 24

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	2	1	1	十分ではなく手狭だと思う。 確保されていると思う。	同時時間帯利用数を調整して実施したいと思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	1		1	確保されていると思う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	5		1	・階段が急だと思う。・階段が急だと思うが昇降の療職員の方が気をつけてくださっている様子を見ていたので安心してします。 ・確保されていると思う。	階段は手すりや指導員が必ず一緒に昇降するなど配慮をしております。設備面での改善は難しいため、今後も同様に努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	1		1	年齢に応じて変化をつければ楽しく過ごせるのではないかとと思う。	粗大運動や身体全体を使った遊びが難しいことを保護者様にお伝えしご協力いただいております。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24				情報共有がされており、しっかり支援を受けていると思う。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	2			計画通りずれもなく進んでいると思う。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24				課題の詳細など明確化されていると思う。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	1		1	それぞれの支援項目に目的が設定されていると思う。 家族支援は、迷いや心配事があるたび先生に話を聞いていただき、大変ありがたいです！！	子育てサポートについてお伝えし、療育現場の観察をおすすめしました。しかし、保護者様のご都合によっては難しい方もいらっしゃいました。継続して子育てサポート実施週の周知や移行支援に向けた目標設定を保護者様と行います。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	3		1	支援が行われていると思う。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	1			学ぶ機会を考慮しながら、プログラムを組み立てていると思う。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	18	3	2	1	小規模保育園なので保育参観しかイベントがない。	子ども同士の活動の場は設定しておりません。北上校としては、保護者様の意向に合わせた園訪問、相互見学を実施いたしました。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24				利用する際に当たり、質疑応答も丁寧に説明していただいた。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24				利用する際に当たり、質疑応答も丁寧に説明していただいた。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	1	1		今後参加も検討していきたい。 まだ参加したことがない。	ペアレントトレーニングを実施しました。研修会などの情報は随時配布とSNS更新をしておりますので、今後も継続して実施いたします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解できていると思いますか。	23	1			一部の人のしか共通理解できていないと思う。	職員全体で把握できるよう、会議の場を使って共通理解に努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	1			・支援が行われていると思う。・口数が少ないわが子に「マイクを使うとお話できますよ！」と教えていただき、大変勉強になりました！	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24				支援が行われていると思う。 わが子のように愛してくださる先生方ばかりでいつも感謝でいっぱいです！	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	3		3	活動に参加したことがないため、どういふものかわからない。	3～6か月に1回ファミカフェの周知と実施を行いました。認知がまだ完全ではない為、継続して実施いたします。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24				相談・悩みごとなど早急に対応していただいていると思う。	口頭での説明に加え、毎月配布の予定表下部と広報やSNSに説明文と申込書（Googleフォーム）を載せ相談援助について周知・説明を行いました。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24				配慮されていると思う。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23			1	配信されていると思う。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	2			留意されていると思う。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24				周知はされているが、訓練を受けたことがない。	毎月実施内容を変えた防災訓練を行い、活動内容について広報と玄関先へ掲示を行いました。お子さまの発達に合わせた実施を検討してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	1	1		災害訓練の頻度も高く、園以外でも対応を学べるのはとても良いと思います。	毎月実施内容を変えた防災訓練を行い、活動内容について広報と玄関先へ掲示を行いました。認知が完全ではない為継続して実施いたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23		1		周知はされているが、訓練を受けたことがない。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23		1		非常時の安全マニュアルなどがあるのは知っている。が、詳細について分からない。	今年度事故はありませんでした、ヒヤリハットに関しては、発生後速やかに対処と会議を行い、内容を広報にて開示致しました。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23			1	花丸です！慣れるまでは時間がかかりましたが、現在は安心して通所できています。	送迎時の時間や予約など保護者様にご協力いただき、安全に配慮した運営を行うことができました。ありがとうございます。保護者様と情報共有を行いながら、お子さまの好きなこと、得意なことを強化し、苦手を補えるよう、一人ひとりに合わせたプログラム作成と実施を行います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24				とても楽しみにしています！通所の時ニコニコしているので楽しみにしていると思う。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	24				花丸です！先生方にはいつも手厚く支援していただいております。引き続きよろしく願い致します。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「クラ・ゼミ」北上校		2025 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	2階のため階段の上り下りは必ず職員がついている。パーティションで区切っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		あらかじめ職員が不足する日は他校舎にヘルプをお願いし、適切な職員数を確保していた。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	こどもの安全のため、出来る限りの配慮をしている。階段⇒手すりを付ける。入口⇒柵をつける。防音のため⇒厚いじゅうたんを敷く等。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		限られた空間で出来る活動を考え、心地よく過ごせるように工夫している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	1フロアのためパーティションで区切って使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日のミーティングや共有ネットワークを使用し、子どもの支援について情報共有をしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		Googleフォームを利用したアンケートを適宜実施している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日のミーティングや共有ネットワークを使用し、子どもの支援について情報共有をしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				第三者評価による外部評価は実施していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		こども部会が作成しているLogoチャットを利用し情報をもらい、外部研修の機会がある場合は、可能な限り参加している。県立療育センターの研修はZoom利用の研修などの機会を頂くことが増えた。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		紙媒体でお渡しできる場合は都度プログラムをお渡しし、出来ない場合は口頭またはLine等を利用しプログラムを伝えています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者とのアセスメントや担当相談員とのモニタリングなどを利用し、作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画会議で情報共有を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画作成の際は必ず会議を開き、意見の交換を行っている。お子さま一人ひとりのディスカッションを作成し、日々の変化を共有するようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		通院時の情報提供や担当相談員とのモニタリング、支援経過報告書の提出を、保護者様の希望に沿って行っている。	

援助の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		イベントなどのプログラムはチームで考えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		療育内容が固定化しないよう、日々の記録を指導員が都度確認し取り組んでいる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別支援で実施、イベントを利用し希望者で小集団療育を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		ミーティングを行い、日々確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。		○	支援終了後、必ず打ち合わせを行うことは難しいが、気づいた点は共有ネットワークを使って情報共有を常に行うようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援の記録の他に、社内アプリ(共有ネットワーク)を利用した個々の日々の変化や共有事項の確認を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月以内に担当相談員、保護者様と見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		基本的には児発管が参加するが、よく理解している指導員が参加する場合もある。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		Logoチャットを利用し、すぐに連絡が取りあえるようにしている。また、担当相談員を中心に会議の場が設置されることが増えた。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		月に1回程度市内や近隣町へ周知をしている。また、児童発達支援卒業後に学童や公共施設の利用につながるよう支援目標を設定したり、情報共有を行ったりしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		市の保健師や相談員と随時連絡を取り合っている。保護者の希望があった場合は支援経過報告の提出や教育相談に同席した。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			児童発達支援センターの役割を北上市こども療育センターが担っており、研修などの機会を頂いている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	行っていない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々のフィードバックを行い、時間が足りない場合は家族支援の利用を促している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		児発管と指導員1名がペアレントトレーニングトレーナー養成講座を受講。今後継続的に実施予定。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に加え、令和6年度制度改定時に重要事項説明会を実施。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング時にアセスメントに加え、家族支援を提案し意向確認を行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		6か月以内に必ず確認・署名による同意をもらっている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		基本予約制で家族支援を実施。対応可能な場合はその場で行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者イベント「ファミカフェ」「家族のための勉強会」「父のための勉強会」「リラックスヨガ」実施。また、きょうだい参加イベントも今年度は実施いたしました。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情解決研修会に参加。小さな意見も流さずに事業所内で確認するよう努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月に1度広報の発行。Instagram・X・ブログを利用し発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		イベントなどで外部へ行く際はさらに留意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		口頭だけではなく必ず文面が見えるよう紙面やLineを利用し伝達を行っている。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域で年に一度開催される福祉展に作品を出品したり、教材紹介をしたりしている。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		年1回以上の研修を行い、月に一度、防災訓練の実施を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		月に一度避難訓練を実施している。また、障害者支援施設等災害時情報共有システムを利用した防災訓練を実施。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		持病を持つお子さまに関しては事前に確認し、緊急連絡先の確認やその日の体調を口頭で確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			おやつ提供がないため指示書は頂いていない。	イベントで配布するお菓子などがある場合は都度保護者様に確認し、アレルギーのあるご利用者様に配慮し内容を考えるようにしている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年1回以上の研修を行い、月に一度、防災訓練の実施を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に説明を行い、月に一度の防災訓練で実施内容を伝えている。緊急連絡先と優先順位を毎年確認している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		都度行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年1回以上の研修を行い、なるべく療育の場が密室にならないようにしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時説明し、同意を頂いている。	